

第6回 四條畷市田原活性化対策本部会議  
平成30年10月30日 午後7時～  
グリーンホール田原 なるなるホール

資料4

# オガールプロジェクト 視察報告 資料

視察日：平成30年10月9日（火）10日（水）



人 口：33,170人  
世帯数：11,925世帯  
(平成30年3月)

面 積：238.98Km<sup>3</sup>

町の花：キキョウ

町の木：ケヤキ

- ・昭和30年 1町8カ村合併
- ・岩手県のほぼ中央、盛岡市と花巻市の間に位置し東西に開けた自然豊かな町
- ・古くから物流の拠点として賑わい、周辺の農村と共に繁栄
- ・豊かな農村の雰囲気と都市の特徴が共存している
- ・果樹生産地であり、全国屈指のもち米の産地
- ・10か所の産直があり、都市と農村の交流拠点
- ・南部杜氏の発祥の地で、4つの造り酒屋がある
- ・「循環型まちづくり」で環境と福祉の町づくりに取り組んでいる。

# 岩手県フットボールセンター

オープン	平成23年4月
事業主体	公益社団法人 岩手県サッカー協会
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>○雨水貯留浸透施設の上に設置</li><li>○（公社）岩手県サッカー協会の本部が移転</li><li>○クラブハウスは完成後、町に寄付</li></ul>



利用者：4.5万人（平成29年度）

# オガールプラザ (官民複合施設)

## B 街区

オープン	平成24年6月
事業主体	オガールプラザ(株)
特徴	<b>【公共施設】</b> 図書館 地域交流センター 子育て応援センター <b>【民間施設】</b> 産直 歯科クリニック 眼科クリニック カフェ 居酒屋 学習塾 事務所





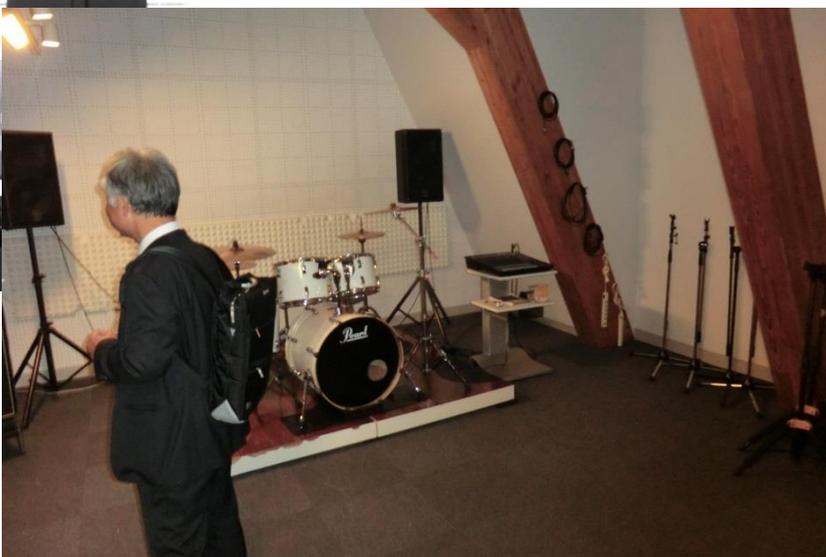
←紫波町図書館：利用者18.7万人(平成29年度)



産直マルシェ レジ通貨者：36万人  
売上契約：約5億7千万円  
(平成29年度)



子育て応援センター  
「しわっせ」  
利用者1.2万人  
(平成29年度)



紫波町情報交流館  
来館者数：32.1万人  
(うち図書館18.7万人含む)(平成29年度)



# オガールベース (民間複合施設)

## A 街区

オープン	平成26年7月
事業主体	株式会社オガール
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>○ビジネスホテル オガールイン</li><li>○日本初のバレーボール専用体育館 オガールアリーナ</li><li>○入居テナント コンビニ、薬局、文具店、居酒屋、事務所など</li><li>○紫波スポーツアカデミーの拠点 サッカー、バレーボール</li></ul>





→ バレーボール専用体育館



← 会議室

→ 紫波町スポーツアカデミーの拠点



# 紫波町役場庁舎

## C街区

オープン	平成27年5月
事業主体	紫波町
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>○木造3階建 国内最大級の木造庁舎</li><li>○地域熱供給による冷暖房システム</li><li>○トイレ洗浄水の雨水利用、太陽光発電など</li></ul>

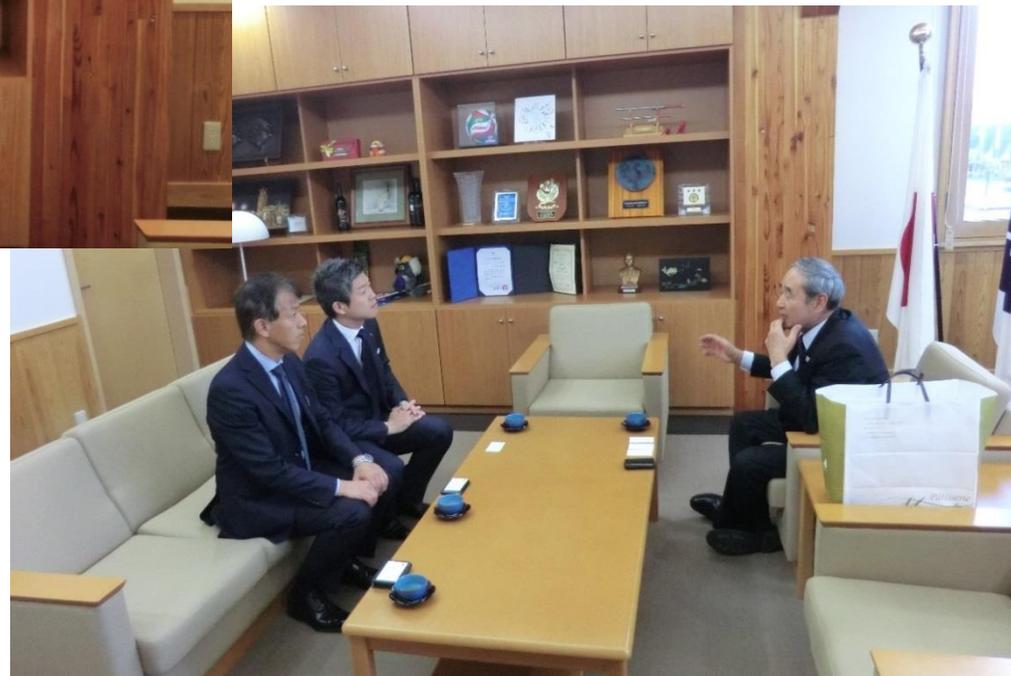




保健センター  
→  
←町役場



紫波町長と  
の意見交換



# オガールセンター (官民複合施設)

## D街区

オープン	平成28年12月
事業主体	オガールセンター(株)
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>○紫波町こどもセンター</li><li>○小児科と病児保育室</li><li>○アウトドアショップ2店舗（クライミングウォール設置）、オガールテラス、（グランピング）、ベーカリー（紫波町産小麦使用）、トレーニングジム、キッズ英会話教室、美容院、事務所</li></ul>



## D街区

# オガール保育園 (民設民営)

オープン	平成29年4月
事業主体	社会福祉法人 共助会
特徴	○民設民営保育園 ○地域材を活用している
定員	150人 (現在137人)



# エネルギーステーション (民間事業)

## D街区

供給開始	平成26年7月
事業主体	紫波グリーンエネルギー(株)
特徴	地域熱供給 (冷暖房、給湯) <ul style="list-style-type: none"><li>・オガールベース</li><li>・オガールタウン</li><li>・紫波町役場庁舎</li><li>・オガール保育園</li></ul> 木質チップ焚温水ボイラー (500kw)



# センターラインに設定された公園



# オガールタウン日詰二十一区

分譲開始	平成25年10月
指定 事業者	町内14社
分譲区画 全体に関 する条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築条件付き土地販売</li> <li>○紫波型エコハウス基準を満たす住宅</li> <li>○オガールタウン景観協定の制定</li> </ul>
区画数	57区画



# 紫波中央駅

地元住民、民間企業からの寄付  
約2.7億円

平成10年3月  
(プレハブ駅舎で開業)

平成13年11月  
(木造待合施設完成)

年間 乗降客	2,980人 (平成29年度)
-----------	--------------------

